



2025 年 5 月 9 日

各位

会 社 名 住友電設株式会社
代 表 者 取締役社長 谷 信
(コード番号 1949 東証プライム)
問合せ先 取締役 常務執行役員
総合企画部長 島田 健一
(TEL 06-6537-3440)

新中期経営計画「VISION2030 Mid-term PLAN 2028」に関するお知らせ

当社は、2030 年度の中期目標「VISION2030」と VISION 実現のための 2025 年度を初年度とする新たな 4 ヶ年の中期経営計画「Mid-term PLAN 2028」を策定しました。

記

1. 前中期経営計画 VISION24 (2020 - 2024 年度) の振り返り

前中期経営計画 VISION24 (2020 - 2024 年度) では、コロナ禍や急激なインフレなど想定外の事態もありましたが、堅調な建設市場を背景に、総額 200 億円の成長投資、4 つの重点施策と 15 の取組みを進めた結果、数値目標は全て達成し、受注高・売上高・経常利益額(率)は、過去最高を更新しました。

2. VISION2030 Mid-term PLAN 2028 のテーマ

大きく飛躍した前中期経営計画ではありましたが、いくつかの課題も残りました。特に人材面においては、急激な工事量の増加や若年層の減少による高齢化、さらに担い手不足といった問題が、建設業界全体で深刻化しています。

VISION2030 Mid-term PLAN 2028 では、「人と技術への投資加速による総合エンジニアリング企業としての躍進」をテーマに、人的資本の拡充と技術力・施工力の強化により持続的成長を図り企業価値の向上に取り組んでまいります。

3. VISION2030 Mid-term PLAN 2028 の概要

- ・ テーマ「人と技術への投資加速による総合エンジニアリング企業としての躍進」
- ・ 基本方針
 1. チーム住友電設を妥協することなく追求し、
サステナブルな全員営業を実践
 2. 人的資本への投資強化による全社活性化
 3. 技術力強化によるビジネスモデルの進化
- ・ 成長戦略
 1. 営業施策
重要顧客との関係強化、受注基盤となる優良顧客開拓、施主営業の更なる
推進、ゼネコンとのパートナー関係構築、等
 2. 現場力強化施策
現場D X等による生産性の向上、お取引先とのパートナーシップ構築を通じて
施工力を強化し、大型案件への対応力を向上
 3. 基盤強化施策
人的資本・技術 I Tへの投資により、施工を効率化、技術者・施工力を確保
- ・ 数値目標

	2028 年度（連結）目標
受注高	2,800 億円
売上高	2,700 億円
経常利益	230 億円
経常利益率	8.5%
ROE	12% 以上
配当性向	50%
政策保有株式純資産比	10% 以下
- ・ キャッシュアロケーション 2025－2028 年度（4 ヶ年）
持続的成長に向け人的資本への投資など積極的な成長投資と株主還元強化を
計画、成長投資 500 億円、株主還元 260 億円

以上

 住友電設株式会社

VISION2030

中期経営計画

Mid-term PLAN2028

(2025－2028年度)

2025/5/9





住友事業精神

萬事入精(ばんじにつせい) 商事(あきないごと)は言うに及ばず候へ共、万事情(精) (ばんじせい)に入れらるべく候
信用確実(しんようかくじつ) 我が住友の営業は、信用を重んじ確実を旨とし、以てその鞏固隆盛(きょうこりゅうせい)を期すべし
不趨浮利(ふすうふり) 我が住友の営業は、時勢の変遷、理財の得失を計り、弛張興廃(しちょうこうはい)することあるべし
と雖(いえど)も、苟(いやしく)も浮利に趨(はしり)、輕進すべからず

住友電設グループ企業理念

- 住友電設グループは、社会的使命と責任を認識し、
- 豊かな社会を支える快適な環境作りを事業目的とし、社会の繁栄に寄与します。
 - 信用と技術を重視し、顧客満足度の高いエンジニアリングサービスを提供します。
 - 高い企業倫理に則り、コンプライアンスに基づいた公正で透明性のある経営を推進します。
 - 創造力豊かな社員を育て、活力と潤いのある企業を目指します。

SEM VALUE

- 誠実 Sincerity >>>>>>>>> 社会のニーズに誠心誠意応えよう
チームワーク Teamwork >> 多様性を認め合いチームの力を発揮しよう
創造 Creation >>>>>>>>> 高い技術で持続可能な未来を創造しよう

社員行動基準

(抜粋) 人権の尊重、プライバシーの尊重、各種ハラスメントの防止
安全で健康的な職場の確保、品質の確保、等

VISION 2030

ありたい姿

- ・ 働きがいのある会社、チャレンジできる会社、誇りを持てる会社
- ・ 創造性豊かな人材が溢れている会社
- ・ お客様のことを全力で考える会社、お客様に信頼される、求められる会社
- ・ 社会インフラを支えるプロフェッショナル集団として、社会的課題を解決する会社
- ・ マルチステークホルダーとの共創を通じて持続可能な発展を目指す会社



VISION2030実現のため 必要なこと、大切なこと

お客様

質の高いエンジニアリング
サービスの提供
新技術の活用、工事現場DX
による生産性の向上

従業員

成長と満足度を高める人材
育成とエンゲージメント施策
DEIの推進による
インクルーシブな
職場づくり

お取引先

お取引先とのパートナー
シップ構築による
協調・共生を大切にした
事業運営、グリーン調達

地域社会

グリーン技術、脱炭素社
会実現のための安心・
安全なインフラ構築に
よる地域社会への貢献

株主/投資家

持続的な
企業経営を前提とした
企業価値の向上と
株主還元

五方よし

Mid-term PLAN2028の位置づけ



サステナビリティ方針

- ・ 事業活動、製品およびサービスにおいて環境負荷低減を目指すとともに、環境負荷の少ない事業分野の拡大を目指します。
- ・ 信用と技術を重視し、顧客満足度の高いエンジニアリングサービスの提供に努めます。
- ・ 海外事業における事業基盤のさらなる強化と事業領域の拡大を通じ、グローバルに社会の繁栄に寄与する活動を推進します。
- ・ 人権と多様性を尊重し、安全で働きがいのある職場づくりに努めます。
- ・ コンプライアンスを重視した公正な事業を推進するとともに、企業情報を適正に開示して透明性の確保に努めます。

CO₂排出量の削減

住友電設グループは、2030年までにCO₂排出量削減目標を以下のとおり設定し、目標達成に向け取り組んでいます。

		マテリアリティ	KPI	
E 環境 環境に配慮した事業の推進		・ 環境負荷低減による脱炭素社会実現への積極的な貢献	CO ₂ 排出量削減 2030年度	Scope1+2 Scope3 46.2%削減（2021年度比） 27.5%削減（2021年度比）
	お客様満足度の向上	・ 強靱で持続可能なインフラ構築への貢献 ・ 安全・品質の確保と技術力の向上	度数率、強度率 休業災害件数	0.00（前年度比改善） 0件（前年度比改善）
S 社会	社員満足度の向上	・ 健康経営の推進と誰もが安心して イキイキと働ける職場環境の実現 ・ 人権の尊重とダイバーシティ&インクルージョンの推進	定期健康診断受診率 100%、年次有給休暇取得率 80%以上、 男性の育児休業取得者数/取得率 100%（前年度比改善） （2031年3月31日までに）女性管理職比率 3.0%以上、女性係長級比率 25.2%以上 総合職新卒採用に占める女性割合・管理職/総合職採用に占める女性の割合10%以上、等	
G ガバナンス 企業倫理の徹底		・ コンプライアンスに基づいた公正で透明性のある経営の推進	コンプライアンス職場研修開催実績（実施率） 情報セキュリティ教育実施回数（実施率）	各部門1回／月（100%） 各部門1回／四半期（100%）

住友電設グループは、CO₂排出量削減以外にもサステナブルな社会構築への貢献と企業価値向上に向け、グループ一体となって取り組んでいます。詳しくは当社ホームページをご覧ください。
<https://www.sem.co.jp/sustainability/>

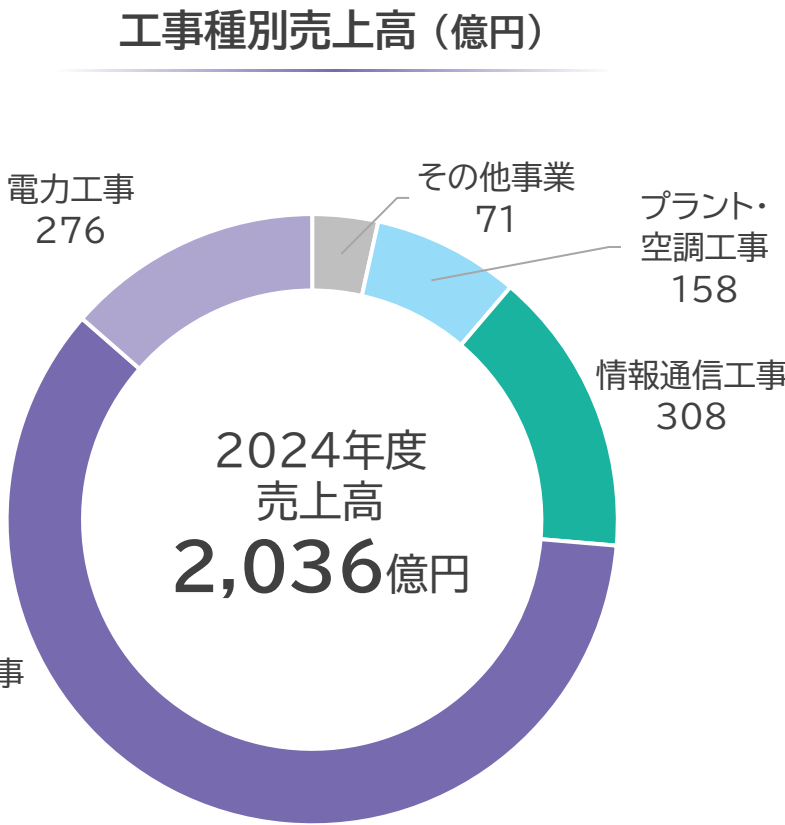
VISION24振り返り

VISION24振り返り 業績概要

VISION24期間は、コロナ禍や急激なインフレ進行等想定外の事態も発生したが、堅調な市場環境を背景に数値目標は全て達成
受注高・売上高・経常利益は過去最高を更新。工事種別では、海外を含む一般電気、電力、情報通信の順で成長をけん引

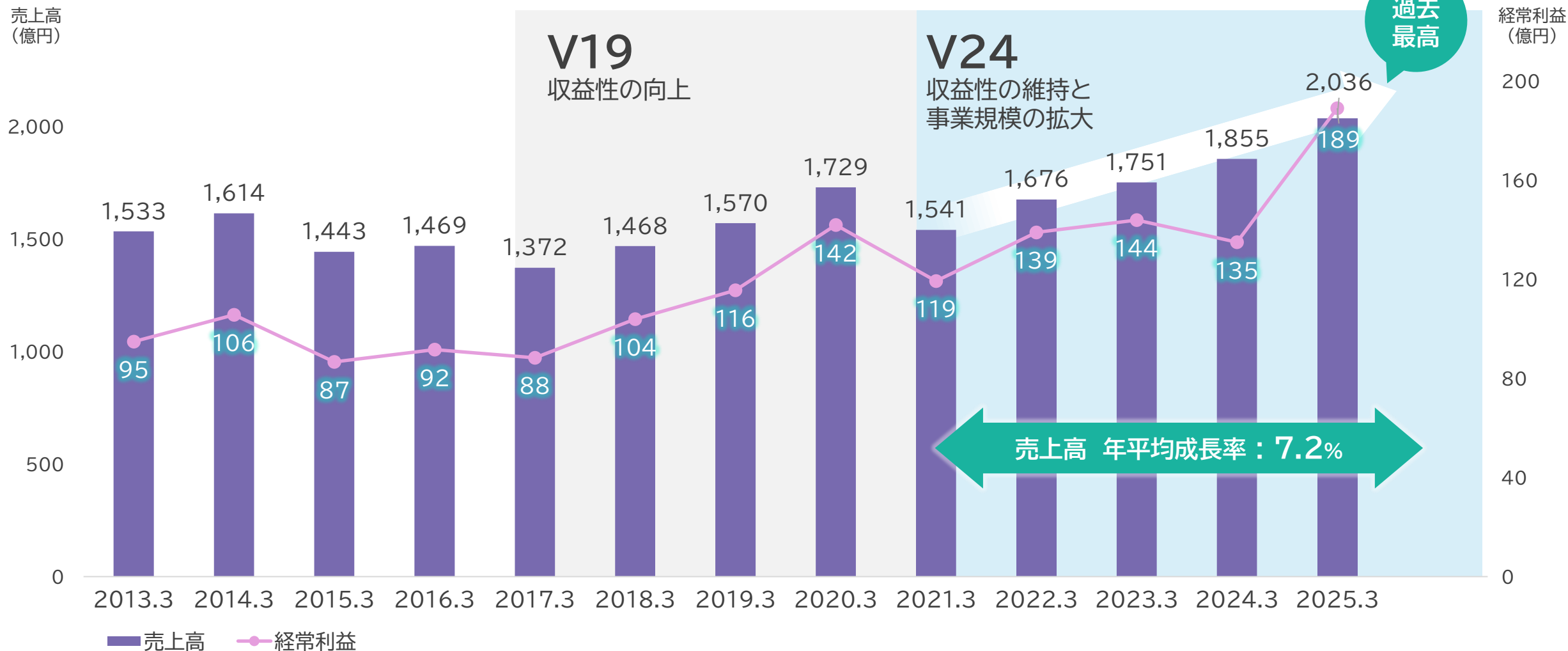
(単位:億円)	VISION19	VISION24		
	2019年度実績	2024年度目標	2024年度実績	目標に対する達成度
受注高	1,673	2,000	過去最高 2,447	+22.4%
売上高	1,729	2,000	過去最高 2,036	+1.8%
経常利益	142	150	過去最高 189	+19.4%
経常利益率	8.2%	7.5%	過去最高 9.3%	
ROE	13.8%	10%	11.7%	
配当性向	25.5%	40%	40.2%	

14期連続の増配を継続



VISION24振り返り 業績推移

収益性向上に取り組んだVISION19を受け、VISION24では収益性の維持と事業規模拡大に取り組み、受注高・売上高・経常利益は、過去最高を更新



顧客満足度向上を軸に、人と技術を中心とした成長基盤の強化と、施工力向上による収益性の改善を実現

V24テーマ

新たな成長戦略と総合力で持続的発展を！

【重点施策4項目】	具体的な15の取組み	取組成果
安全品質・コンプライアンス	- 安全・品質の確保 - コンプライアンスの徹底	V24期間を通じて、安全行動の定着、安全品質管理の基盤強化、心身の健康維持のための教育・全社運動、コンプライアンス活動を継続
人材の確保・育成と働き方改革	- 研修施設、教育プログラムの拡充 - 人材の確保 - 生産性向上への効率化追求 - 総労働時間の削減 - ダイバーシティへの取組み強化	2023年4月、川崎テクニカルセンター(KTC)開所による研修の拡充 - 新人研修、階層別研修の継続実施(コロナ禍含む)、KTCを活用 - 単体従業員 19年度末 1,535名⇒24年度末 1,823名 へ増加 - 工事現場のDX推進(タブレットの活用、生産性の向上) 24年問題への対応、えるぼし継続取得、女性キャリアサポート研修継続
顧客満足度向上の追求 (提案営業力・施工力・技術力)	- 提案営業力の強化 - 施工力の確保・強化 - 期待領域への注力 - 新技術、新工法への対応	- V24期間中、継続して、受注時・完成時採算を改善 - タスクチーム活動によるリニューアル・メンテナンス案件の増加 - 新規事業：IPナースソリューションの拡販、グロサポの販売開始 - 全部門横断の購買部門による全社購買プロジェクトの開始 - 陸上風力発電所の大型自営線プロジェクトへの参画 - SEMクラウドの運用開始、HACCPステーションの販売開始、置換空調技術の確立
未来を見据えた企業価値の向上	- ESG、SDGsへの取組み - 財務体質の維持と株主還元の充実 - 健康経営の推進 - 福利厚生の充実、職場環境整備による従業員満足度の向上	- TCFD推進プロジェクト：シナリオ分析・リスク分析の実施、2030年度CO₂排出量目標の設定⇒非財務情報の発信強化 「健康経営優良法人2022」認定、継続中 - カフェテリアプランの拡充、社員満足度&エンゲージメント調査と対応 - 従業員処遇改善(インフレ率を超える賃上げなど)を実施

VISION24振り返り 成長投資

人材育成と技術力強化を軸に、教育拠点として新たに川崎テクニカルセンターを開所する等、5年間で計200億円の投資を実行し、未来を見据えた成長基盤を整備

“人”への取り組み

- | | |
|-------|---|
| 2021年 | 65歳定年制の導入 |
| 2022年 | 「住友電設グループ健康経営宣言」を制定
「健康経営優良法人2022」に認定、現在まで継続認定
女性活躍推進「えるぼし認定」を取得 |
| 2023年 | 新卒初任給並びに年次有給休暇付与日数の改定
定年後再雇用者(シニアエキスパート社員)の雇用上限年齢を撤廃
奨学金返還支援制度の導入 |
| 2024年 | 新卒総合職の入社後3年間の勤務エリア保証制度開始 |

“技術(新規事業、新工法等)”への取り組み

- | | |
|-------|---|
| 2020年 | 簡易SOCサービスの販売開始
高張力架線工事用延線車を製作
最新の標準化規格を採用した大規模高密度無線LANシステムの構築 |
| 2021年 | クラウドを用いたHACCP管理システム「HACCP Station」の開発
大学向けAI感情解析ソリューションの無償提供を開始
海峡横断箇所の架空送電線工事を施工 |
| 2023年 | 中小製造業向け企業成長支援ソリューション「グロサポ」を提供開始
川崎テクニカルセンターにローカル5Gシステムを導入 |
| 2024年 | 監視クラウド24 PoCキャンペーン
「スマートファクトリー支援ソリューション」の提供を開始
「サイバーセキュリティワンストップサービス」の提供を開始 |

研修・技術拠点の整備



電力本部「茨城送電線工事センター」
関東圏北部地域における送電線工事の基点
(2022.3.18開所)



研修施設「住友電設 川崎テクニカルセンター」
各種研修施設のほか宿泊設備も備えた
当社として初の教育に特化した施設
新入社員研修をはじめ、全社における教育の拠点
(2023.3.14開所)



電力本部「東京工事センター」
架空・地中送電線工事における
首都圏地域の基点
(2024.9.6リニューアル)



フィリピン・テクニカルセンター
マニラ首都圏北方の
ブラカン州パラリス工業団地内に開設した
研修センターと加工工場の複合施設
(2024.10.9開所)

外部環境の変化にともない、

- ① 大型案件への対応力強化とバックオフィスによる支援体制含む施工体制の整備
- ② 通信キャリアビジネス縮小に伴う次の柱となる事業の確保
- ③ 旺盛な需要に対応するための技術者・施工力の確保 が課題

需要の変化	工事種別	VISION24の課題	V30 MP28における取組み方針
大型案件増加	電力工事	再生可能エネルギー発電所の系統連系、超大型自営線案件の受注	左記の大型自営線案件施工のための全社による支援体制の整備・継続
	一般電気工事 国内	データセンター、再開発案件等、大型案件の増加に伴う施工力の確保、支援体制整備	働き方改革と適正工期の両立、バックオフィスによる支援
	海外	円安の定着による日系投資の長期低迷を補う非日系案件の確保、機械工事の強化	- データセンター等、需要旺盛な分野に注力 - 非日系案件の収益性改善
事業構造の変化	情報通信工事	通信キャリアビジネス縮小を踏まえ、次の柱となる事業を確保	社会基盤事業の育成、拡大

新中期経営計画

VISION2030

中期経営計画

Mid-term PLAN2028

(2025－2028年度)

景況感

国内

- 実質GDP成長率予測は 平均1.0～1.2%。
緩やかな成長とインフレ/賃金上昇トレンドの継続
- 金利/為替の変動やインフレ長期化リスク残存

海外

- 米/中/ロ/NATO、中東問題等 地政学リスク複雑化
- 米国の関税引上げ等に伴い、景況感が不透明に
- 東南アジアは堅調な成長を見込むが、世界的なリセッションも考慮

社会経済・建設投資動向

- 経済安全保障 …… 半導体・電子部品等の国内生産シフト
- 設備投資 …… 老朽化設備の維持更新、省力化投資、環境対応
- 少子高齢化 …… 医療・介護分野の省人化、効率化等
- 再生可能エネルギー …… 積極投資継続
- AI/自動運転 …… 大容量/高速/低遅延 データセンター需要継続
- 国土強靱化 …… 防減災/送電網強化/ネットワーク機能強化

建設業界動向

- サステナビリティへの関心の高まりからESG、SDGs関連投資が継続
- 旺盛な建設需要と労働力不足から収益性確保の機運が更に進展
- 建設工事費の上昇基調継続による利益率低下懸念、世界情勢の不安定化とサプライチェーン混乱に伴う資機材の納期遅延

- 労働力不足解消や生産性向上に向けた取組みが進展し、働き方改革の多様化、建設DXの活用加速（BIM、AI、リモートワーク、ICT、ロボット・ドローン、ビッグデータ）
- 改正建設業法に基づく担い手確保の重要性の高まり（処遇改善、資材価格転嫁、働き方改革）
- ダイバーシティ・インクルージョンの推進（女性活躍、外国人の登用）

激変する事業環境のもと、引き続き旺盛な需要を取り込み、
社会、お客様の期待に応え、人と技術への投資により、持続的に企業価値を高め「VISION2030」ありたい姿を実現する

Mid-term PLAN2028 全体像

Mid-term PLAN2028 テーマ

人と技術への投資加速による総合エンジニアリング企業としての躍進

I 基本方針

1

チーム住友電設を妥協することなく追求し、
サステナブルな全員営業を実践

2

人的資本への投資強化による
全社活性化

3

技術力強化による
ビジネスモデルの進化

成長戦略

営業施策

- 国内外の成長領域への対応力強化
- 施主営業、提案営業による営業力の強化

データセンター

再生可能エネルギー

広域系統連系

蓄電所

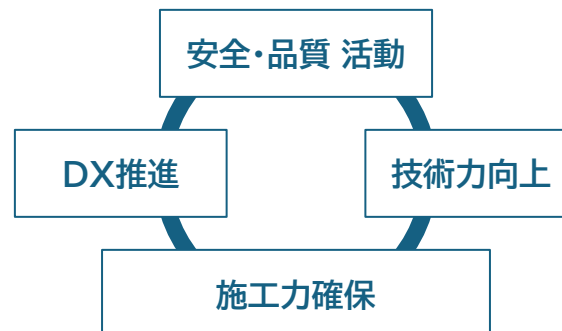
送電線網増強

社会基盤

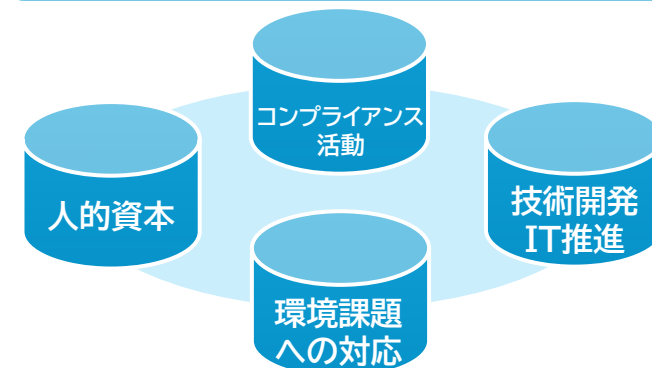
医療介護

スマートファクトリー

現場力強化施策



基盤強化施策



受注高2,800億円を目指し、
「チーム住友電設を妥協することなく追求し、サステナブルな全員営業を実践」をテーマに営業活動を強化する

重点施策

- 重要顧客との関係強化
- 受注基盤となる優良顧客開拓
- 施主営業の更なる推進
- ゼネコンとのパートナー関係構築
- 新技術/新事業の提案営業強化
- DX化による効果的な営業展開

組織力強化

コンプライアンス遵守と
ガバナンス強化

人材育成/
次世代リーダー教育充実化

エンゲージメント向上

営業組織再編による
活動効率化

チーム住友電設

電力	- レベニューキャップ制度による更新需要等、情報収集/提案活動 - 案件規模と施工力とのバランス - 住友電工グループとの協業による自営線、設計施工ワンストップ対応 - 電気炉/特高案件におけるエンジニアリングサポート
一般電気 国内 海外	- データセンター/工場/再開発等、成長分野へ注力 - 課題に対するソリューション提案力強化による選ばれるサブコンへ - 物価上昇/工期長期化等、事業リスクへの対策強化 - 国内営業と現地法人/ゼネコン/コンサル等、連携強化 - 各国の内需関連顧客に対するターゲティング強化
情報通信	- 防減災対策等に伴う需要増を見据えた社会基盤事業分野の強化 - 開発案件拡大(再開発/ホテル) - 各種ソリューション領域拡大(製造/文教/医療介護)
環境設備 プラント	- 電気/機械工事の一括受注強化、新規開拓によるプラント工事の拡大 - カーボンニュートラル課題、省エネ課題への対応

現場DX等による生産性の向上、お取引先とのパートナーシップ構築を通じて施工力を強化し、大型案件への対応力向上を目指す

	基本方針	スローガン	施策
安全・品質	安全品質と健康を最優先の価値とし 相互に啓発を図りながら揺るぎない 安全文化の確立を目指す	高めよう 危険感受性 なくそう 災害事故リスク 育もう 安全安心職場	- 安全行動の定着「安全・品質を最優先し考え行動することの組織への定着」 - 安全品質管理の基盤強化「安全・品質マネジメントの整備・強化」 - 心身の健康保持「職場環境の改善による健康の保持増進」

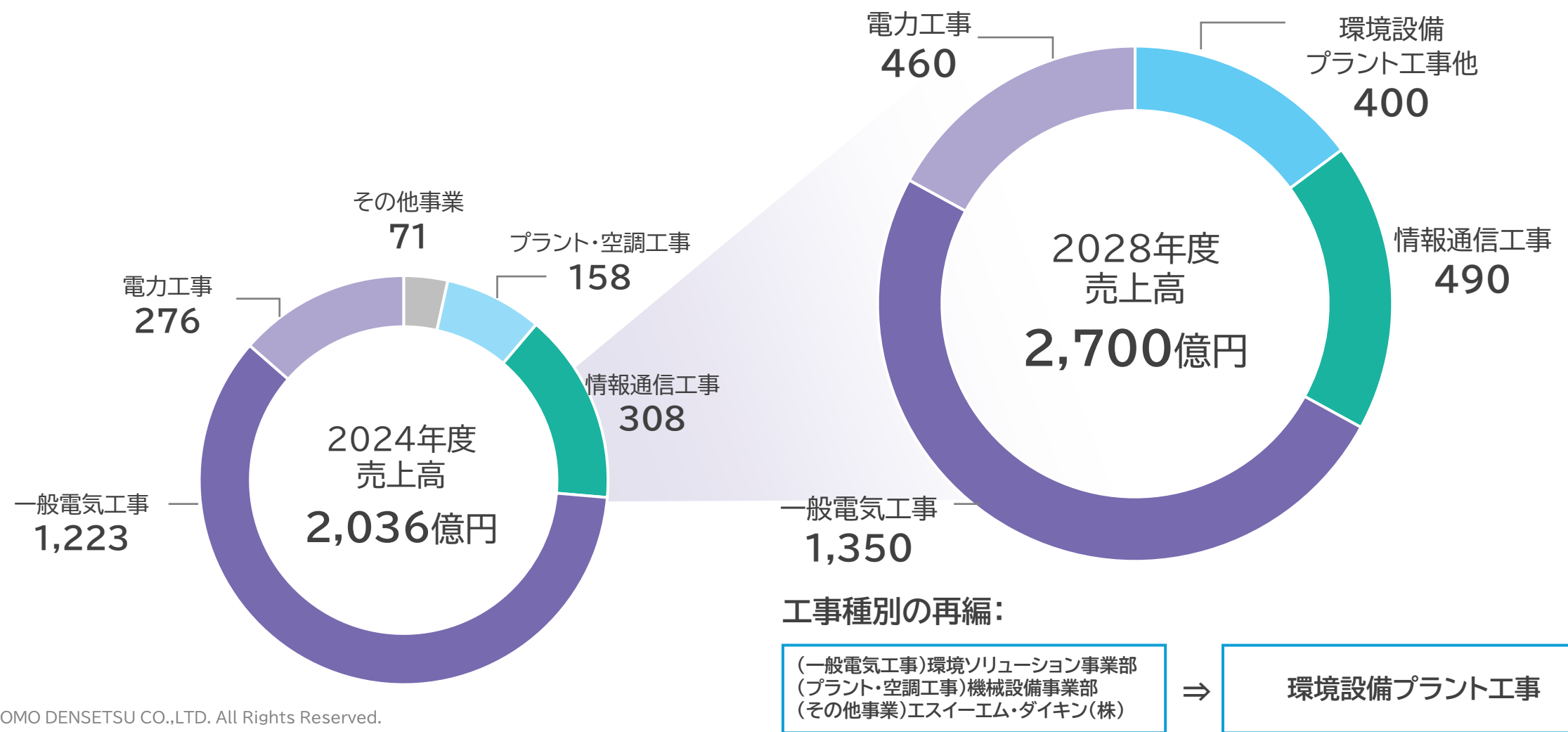
工事種別	注力する分野	現場力強化施策
電力工事	- レベニューキャップ制度による送配電設備更新需要 - 住友電工との協業による超高圧案件・再エネ自営線 - 製鉄メーカーの生産設備再編需要（電気炉転換等）	- 技術者の採用強化、社外との協業による施工力の強化 - 需要増を見据えた全国工事拠点の整備 - 調査設計会社との協業によるワンストップ体制の整備 - 協力会社連携強化、技術者キャリア採用
一般電気工事 国内	- データセンター、工場・研究所、事務所・商業ビル、再開発案件、 物流施設、医療施設、IR - メンテナンス/リニューアル案件	- バックオフィスの体制拡充（業務支援/分散化、業務効率化） - 生産性向上（DX/AI活用、ナレッジの蓄積、課題解決力） - 協力会社支援強化（担い手確保）、マイスター制度（職長）
海外	- 非日系案件、データセンター、直需等 - 日系/直需、新市場/新地域/新領域	テクニカルセンター活用によるプレハブ化、省力化、ナショナルスタッフの育成 ⇒ 原価低減、施工リスク/工程含む進捗管理の強化
情報通信工事	- 社会基盤事業（消防、鉄道、交通） - ソリューション事業領域（医療介護、製造業、文教） - 複合ビル、ホテル、データセンター等、各種施設の情報ネット ワーク構築	- 施工力強化、保守体制整備（協力会社育成） - DX商材/サービスを開発・提供、スマートファクトリー支援等 - 都市開発案件・ホテル案件拡大、新規顧客開拓 - サーバー/クラウド、監視カメラ、IoT連携
環境設備 プラント工事	- カーボンニュートラル課題、プラント、計装、ごみ処理、蓄電所、 ペロブスカイト、置換空調、電気/機械一括案件 - 住友電工グループ等、工場生産設備投資	- 環境関連部門の社内リソース統合による施工対応力の強化 - 大型案件、設計案件への対応力、現場代人の育成及び支援体制強化

人的資本、技術ITへの投資により、施工を効率化、技術者・施工力を確保し企業価値の向上を目指す

コンプライアンス	コンプライアンス活動継続	コンプライアンス月間(活動テーマの特別研修等)、職場研修、業務相談・通報窓口の活用、等
人的資本	人材確保の強化	多様な人材の採用・登用継続、新卒入社後3年間の勤務地保証、リクルーター体制強化
	女性活躍の推進	多様な働き方の支援継続、女性キャリアサポートプログラムの継続・強化、男性育休取得100%
技術開発 IT推進	現場の省人化	デジタル空間技術の活用、プレハブ化・加工センターの検討、DfMAの推進
	エンジニアリング力の強化	専門技術スーパーバイザー制、エンジニアリング会社のM&A検討
	要員配置最適化	重要な人的資本である技術者の工事経歴を含む、より高度なデータベースを構築、技術者配置の効率化、最適化を図り、戦略的な人員配置につなげる
	施工計画策定支援	類似案件のデータをもとにリスクを踏まえた施工計画・安全品質管理計画を策定し、省力化、高度化を図る
	調達業務の高度化	EDI導入による効率化、データベース構築による資材価格交渉力の強化
	生成AI活用	生成AI活用の深化・拡大によるナレッジの活用/書類作成の省力化
環境課題への 対応	組織再編による 課題対応力の強化	環境設備本部を新設し、お客様のカーボンニュートラル課題に対するソリューション提供力を強化(一般電気工事)環境ソリューション事業部、(プラント・空調工事)機械設備事業部、及び(その他事業)エスイーエム・ダイキン(株)を、工事種別:環境設備プラント工事に再編

工事種別売上高目標

機械工事の強化、施工力の強化と技術者の効率的な配置により、電気・機械一括受注の拡大等、案件獲得機会の増加を目指す



VISION2030 Mid-term PLAN2028

Mid-term PLAN2028 テーマ

人と技術への投資加速による総合エンジニアリング企業としての躍進

2024年度実績（連結）

2028年度目標（連結）

受注高

2,447億円

2,800億円（年平均成長率3.4%）

売上高

2,036億円

2,700億円（年平均成長率7.3%）

経常利益

189億円

230億円（年平均成長率5.0%）

経常利益率

9.3%

8.5%

ROE

11.7%

12% 以上

配当性向

40.2%

50%

政策保有株式純資産比

19.3%

10.0% 以下

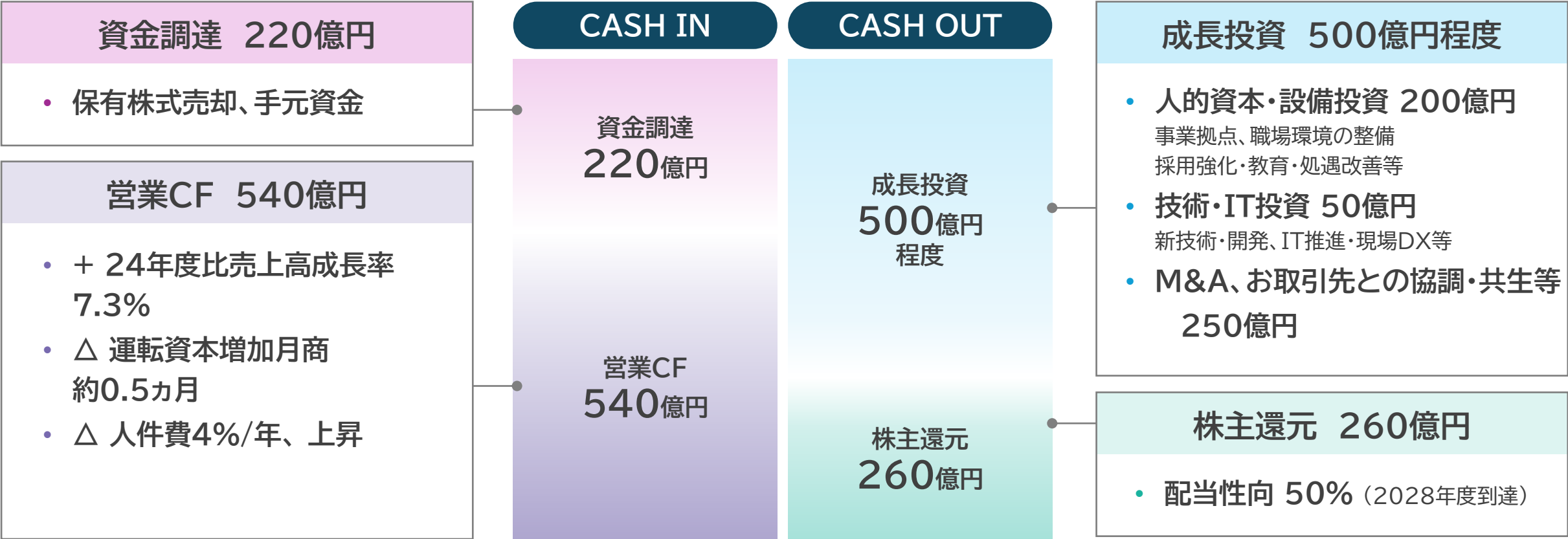
成長投資

20-24(5年間) 200億円

25-28(4年間) 500億円

持続的成長に向け、人的資本への投資など積極的な成長投資と株主還元の強化を計画

2025年度～2028年度



配当方針 2012.3期から14期連続の増配を実施

お客様

従業員

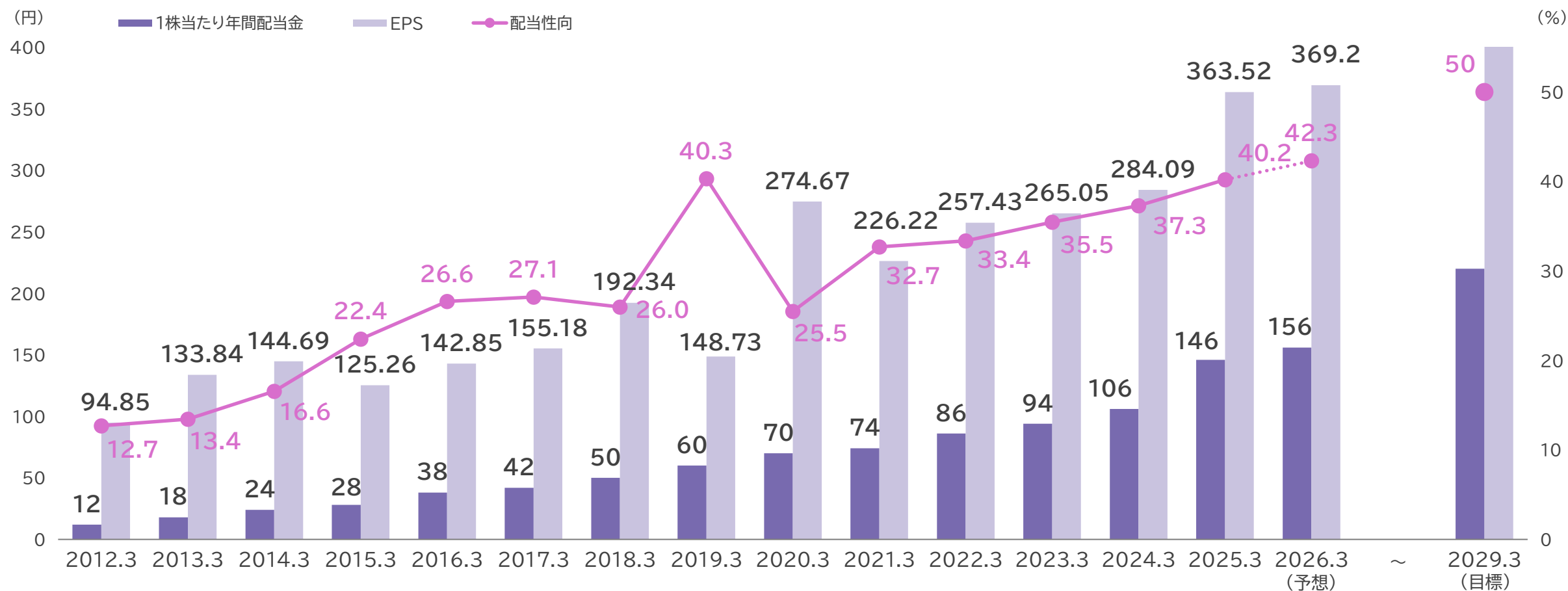
お取引先

地域社会

株主/投資家

VISION2030 Mid-term PLAN2028 の配当方針：2028年度 配当性向50%到達を目標とする

EPS・1株当たり配当金・配当性向の推移



補足資料

VISION2030

中期経営計画

Mid-term PLAN2028

(2025－2028年度)

人的資本を強化し、社員エンゲージメント向上による組織活性化を通じて事業規模拡大と企業価値向上を目指す

目 標

① 事業規模拡大

② 企業価値向上

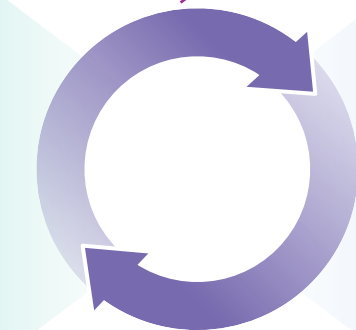
住友電設グループ サステナビリティ ESGへの取り組み、マテリアリティ
「社員満足度の向上」におけるKPIの確実な達成

事業運営

人的資本投資を推進

- 多様な人材の採用
- 研修・資格取得支援・教育制度の整備/拡充
- 経歴やスキルに応じた人員の適正配置
- 処遇改善
- 働きやすい職場作り
- 社会課題への取り組み強化

組織活性化



業績拡大への貢献

従業員

誇りをもってはたらく

- 部門や職種を超えたチームワークの形成
- 専門性のさらなる強化
- 多様な施工経験を通じたスキルアップ
- 長期視点でのキャリア形成
- 環境保全等の社会的課題解決への貢献

省人化とエンジニアリング力の向上をテーマに技術開発に取り組む

省人化技術の開発

様々な対象、領域、工程で省人化に取り組みグループ全体へ展開

体制整備

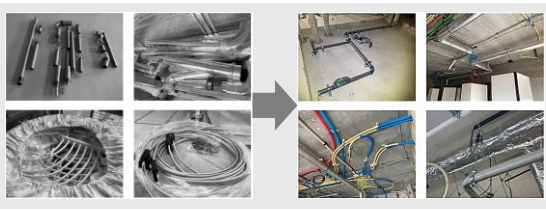
資材加工センターによる事前作業



チビトン
テクニカルセンター
(インドネシア)

工法開発

現場施工のプレハブ・ユニット化



アプリ開発

デジタル空間での改修現場管理



デジタル空間
での計測

労働集約型の
産業構造からくる
人手不足課題の克服

エンジニアリング力の向上

スーパーバイザー制導入による技術力の強化(伝承)

スーパーバイザー

- 現場を技術的な側面から支援するアドバイザー
- 案件の全てのフェーズに関与、横ぐしを通す



スーパーバイザーに期待される役割

ワンストップサービス

技術提案、計画・コスト・品質等、顧客対応

全てのフェーズで活動

原価検討、着工会議、検査、完成報告、
リニューアル、メンテナンス

組織力強化

若手技術者への技術継承／
高難度課題の解決提案／顧客情報の展開

高難度案件への挑戦と
リスク対策を両立
事業領域の拡大に貢献

成長戦略 住友電設グループの強み ～海外戦略～

お客様

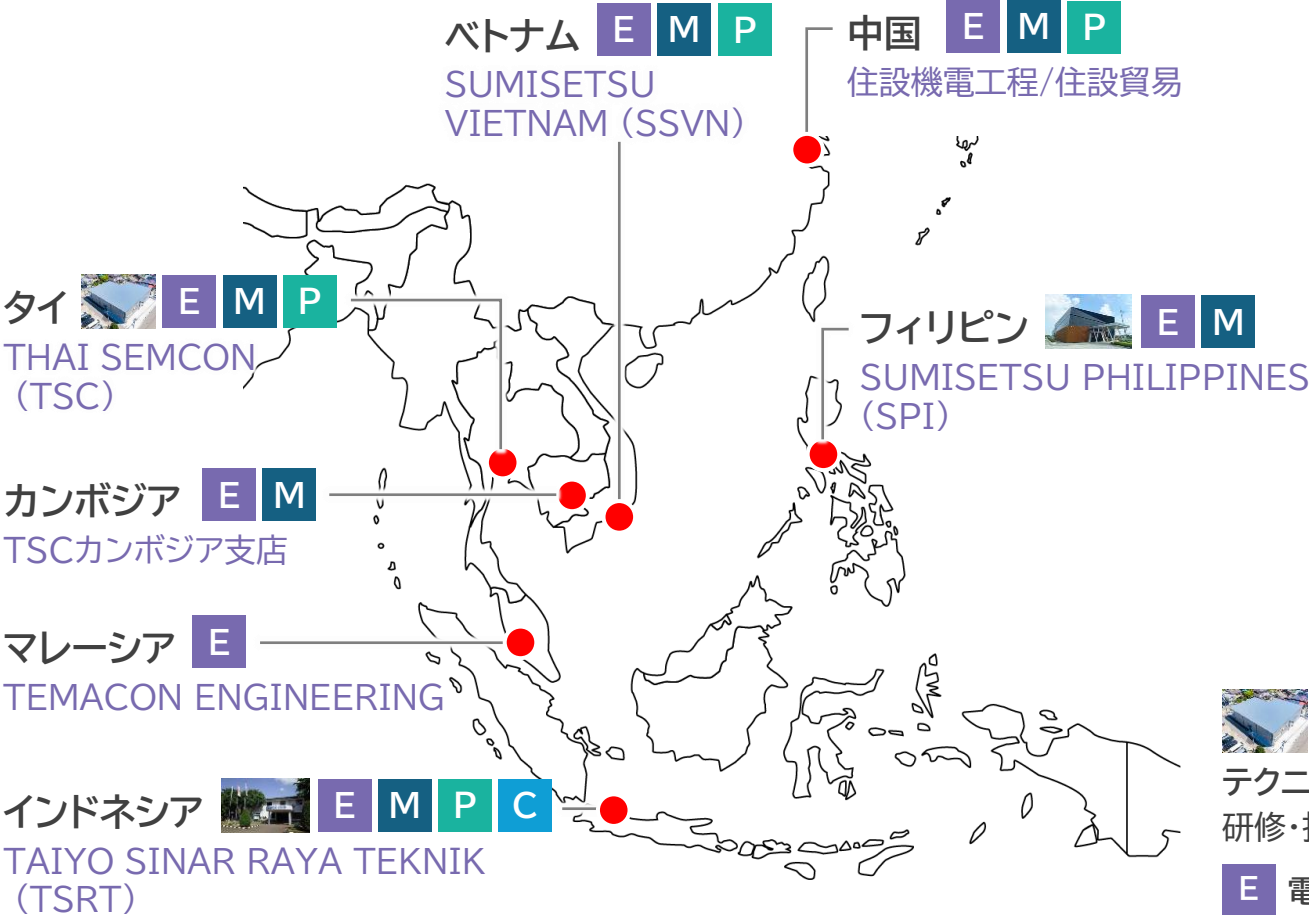
従業員

お取引先

地域社会

株主/投資家

テクニカルセンターを活用した各拠点のナショナルスタッフの技術・技能の向上とプレハブ化等、原価低減策を推進し、競争力を確保
データセンター等、成長分野への注力と、成長投資により、さらなる海外事業の成長を目指す



住友電設グループの海外事業における強み

7カ国、従業員約1,300人 売上高 354億円
(2024年度実績)

- 1969年に初めて海外へ進出、各国の顧客と良好な関係を構築し、豊富な工事实績に基づく安定した経営基盤を確立
- 円安の定着、日系投資の伸び悩み等、困難な事業環境においても安定した事業基盤により、VISION24期間を通じて海外事業全体で黒字を確保
- 近年ではタイにおける大型データセンター案件を施工、新たな需要を掴み成長を加速



テクニカルセンター

研修・技能訓練、加工工場、倉庫、営業等、各種機能を兼ね備えた施設

E 電気工事

M 機械工事

P プラント工事

C 建築工事

業績予想等に関する注意事項

本資料に記載されているデータや業績予想は、当社が現時点において入手している情報に基づいて判断したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想と異なる場合があります。

お問い合わせ先
住友電設株式会社 総合企画部
大阪本社 06-6537-3440